

# ベリーダンススタジオにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

一般社団法人日本ベリーダンス連盟

## 1. 序文

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、活動自粛・自主休業の要請を受けておられた全国のベリーダンススタジオ主宰の皆さんはこの期間、現状そして将来に対する不安やスタジオに対する責務を考えながら日々お過ごしされていたことかと拝察いたします。

今般の緊急事態宣言解除は、あくまでも引き続き感染予防策を講ずることを前提としているとはいえ、主宰の皆さん生徒の皆さんも心待ちに臨んでいたことと思います。

しかしながら、ベリーダンススタジオの再開については、「3密」状態にならざるを得ないダンスレッスンに於いては、感染予防に対して最大限の対策を実施することが前提条件として不可欠であることには変わりなく、ここに「指針」としてご提案するガイドラインは、国や地方自治体の方針を踏まえ、ベリーダンススタジオの活動再開に向けて実施すべき基本的事項を整理したものです。

もちろん、皆さまの主宰するベリーダンススタジオには運営形態や施設の規模など多様な違いがあり、一概にここでのご提案が実施できる環境であるとは限らず、また直ちに対応・実施することは難しい事柄も含まれているかもしれません。

従いまして、以下のご提案が再開の必須条件ではありませんし、残念ながら全てを実施したところで感染が100%防げるという確証もございませんが、より感染予防効果を高めるための推奨事項として、再開の参考にしていただければと存じます。

## 本ガイドラインの基本スタンス

本ガイドラインは、本年3月以降、新型コロナウイルス禍に対し政府、或いは政府招集による専門家会議等で示された基本方針や提言に基づき、概ねそれらに準拠した上でベリーダンス特有の状況を勘案して緊急事態宣言解除後の皆様のスタジオ再開の参考に供するために作成されております。

従いまして、ステイホームを推奨していたような新規感染者が増加・感染まん延している「緊急事態宣言」期間中のガイドラインではなく、また、ベリーダンスショーやイベントなどで生徒以外の大人数の参加をみる公演に類する活動について本ガイドラインの示すところではございませんので、そちらにつきましては主に公立文化施設協会の劇場再開に関するガイドラインをご参考に判断されることをお勧め致します。

## 2. ベリーダンススタジオ再開に向けてのガイドライン

以下に示すガイドラインはベリーダンスレッスンの立場からのガイドラインであり、感染拡大防止に向けて第一に遵守すべきガイドラインは国や教室が所在する各自治体からの通知・要請事項となります。

例えば、東京都の場合、規制緩和の行程を3段階のロードマップとしており、具体的にベリーダンススタジオの記載はないですが「学習塾」「スポーツジム」の範疇とするとステップ2が営業再開の目安として示されているとの理解が出来ます。

●ベリーダンススタジオにおける注意項目は項目頭の□をチェック欄としてご利用ください。

## 【ベリーダンススタジオにおける感染症予防対策の実践例】

### 1. 一人ひとりの基礎的感染対策(全般)

#### 感染防止の3つの基本

#### ① 身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い・消毒

- ・人との間隔はできるだけ2m(最低1m)空ける。
- ・会話をする際は可能な限り真正面を避ける。
- ・外出時は症状がなくてもマスクを着用する。
- ・帰宅したらまず手や顔を洗う。すぐに着替える。
- ・手洗いは30秒程度かけて石鹸で丁寧に洗う。

#### 移動に関する感染対策

- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- ・帰省や旅行は控えめに。
- ・発症した時の為、誰とどこで濃厚接触的に会ったかメモをする。
- ・地域の感染状況に注意する。

### 2. ベリーダンススタジオとしての対策(主宰者側)

- 入口に消毒液を常備し、生徒・講師共に入室時には必ず手指の消毒を行う
- 生徒に検温・体調確認をする
- 入口のドアノブや接触箇所に消毒液を塗布する。
- 室内の換気を頻繁に行う。
- 更衣室・トイレ・備品・床などは休憩時間ごとに消毒を行う。
- クラスの人数が過密にならないよう、クラス編成や時間を調整する
- 更衣室の広さに応じて人数制限を行う。
- 現金を直接受け渡ししないよう心掛ける。

3. ベリーダンススタジオとしての対策(生徒側)

- 熱や風邪の症状がある場合は必ず休む
- 同居人や職場に感染者が発生した場合は必ず休む
- レッスン着・衣装・小道具等の貸し借りは行わない。
- 出来るだけマスク着用する。※但し体調に応じて換気を十分にした上で外すのは可。

4. レッスンでの対策(教師側)

- 講師は原則マスク着用にして指導を行う。※但し、呼吸困難・熱中症にならない範囲で
- レッスン中は生徒同士の間隔を常に保てるよう配慮する。
- 生徒が密接、密集するような振付・構成は控える
- グループ分けする際は、通常より人数を少なくする。また順番待ちの生徒たちが密にならないよう配慮する。

コロナ感染拡大防止対策期間中は営業的側面への影響も大きいので通常状態に早く戻されたいお気持ちはわかりますが、万が一スタジオから感染者が発生した場合はその社会的責任もさることながらベリーダンススタジオとして致命的なダメージになりかねない事を考慮され、くれぐれも慎重な対応をお勧めいたします。